

Compass

2006.Jan.

<http://www.nikkenkyo.com/>

- 議長新年挨拶 「働いて楽しい幸せな生活を願って」
- 秋の会社訪問報告 あなたの会社は今、このように考えています。
- 特集 お休みの日、たまにはお料理でも作ってみましょうか
- 連載一② 「公共工事品確法」って知っていますか? 具体的事例とその影響について
- 建設産業のイメージアップにむけて
- 連載一② 所得税 私たちが納めている税金について考えてみよう!
- 交流日誌 日建協があなたの組合を訪問しました。
- ◆NIKKENKYO TOPICS ◆クロスワードタイム 他 ◆東西組合細見 東洋建設職員労働組合



井上工業 会社訪問



浅沼組 会社訪問



第1回代表者会議 分散会



東洋建設職員労働組合 意見交換会

日建協

日建協ホームページアドレス
<http://www.nikkenkyo.com/>

働くで楽しい幸せな生活を願つて

新年、あけましておめでとうございます。

組合員の皆さん、本年もどうぞよろしくお願ひします。

昨年8月に議長に選任され、はや5ヶ月が経ちました。

この間、加盟組合の大会、会社訪問、日建協諸会議において、加盟組合本部、支部の方々、経営者の方々

さらには業界団体、マスコミ、行政の方々とお話をさせていただきました。

受注が増え、組合員はさらに忙しく

大しています。政府は日先の財政論議で、日本の国土を守るための公共事業まで削減しているように思われます。また、厳しい契約であるものの民間工事が比較的順調のことだけで、景気回復した、と状況判断しているようにもみえます。

その結果、私たち組合員は、雇用面では落ち着きを取り戻しつつも、賃金面へのプラスの実感は湧かず、労働時間面としては仲間が少なくなった分、以前よりも実質的には忙しい、きついという声がたくさん届いています。この厳しい労働条件に対し、私たちにとって本当の生活する幸せを呼び込むために、忙しさを少しでも改善するということを、まじめに考えなければなりません。

今年は、この具体的な活動を行います。

このような厳しい労働状況をえていくためにも、短期、中長期的な視点で、今年は次の活動を具体的に実施していきます。特に力を入れていく活動を4つ挙げます。まずは、短期的に、近年の建設

という束の間に今度は一気に忙しくなったという状況をあらわしています。

受注が伸びてきて、本来であれば、労使ともに笑みがこぼれてくるはずなのに、顔がこわばってしまう。組合執行部はもちろん、経営者の方々にとつても「がんばってほしい！」と言うものの現場の状況を想像すれば、非常に難しくなっています。現場そして内勤で働く組合員の皆さんが日に日に元気がなく

なっていく状況ではないでしょうか。

昨年から今年にかけて、建設産業の厳しさは増加

昨年は、企業による設備投資、消費という内需拡大により景気が上向きになってきたといわれるなかで、IT企業・投資ファンドによる株式買い取り問題、自民党圧

勝内閣による今後の政策に対する期待と懸念・不安、アスペクト問題そして年末におきた耐震強度偽装問題など、社会、政治、経済とともに時勢が大きく変化し、さまざまな対応が求められています。海外では、アメリカの巨大ハリケーン、パキスタン地震と災害に見舞われた一年でもありました。

建設産業は、民間工事の拡大に伴い、建築工事は増加しておりますが、土木工事は予想を超えるほど規模の縮小により、厳しさが拡大する年でもありました。

日建協議長 宮野一也

働くで楽しい生活を願つて

なさんの気持ちを思い出すためにも活動していきたいと考えています。



注者の組合員とぶつけ合つて

きたいと思います。

そして、労働時間短縮に向けて実施している時短活動もさらに力を入れていきます。具体的な活動として、作業所の統一土曜閉所運動を行っていますが、組合員の皆さんの認識度が高まり、作業所閉所率は向上しています。ただし、このような時短意識の芽生えに対し、実際の労働時間短縮にはなかなかつながらないデータもあります。この問題に対して、建設

産業の現状を把握するとともに実際に現場に伺い、なぜ、どうして難しいかを日建協本部自身で感じ取りたいと思っています。

最後に長期的な課題である、建設産業の魅力を向上させたいということです。今のところ、日建協ができる活動のロードマップがあるわけではありませんが、建設産業がなんといつても「楽しい」、「おもしろい」という入社当時のみ

本年は、スポーツの楽しみな話題としては、冬季オリンピック（トリノ）、ワールドカップサッカー（ドイツ）、バスケットボール世界選手権（私の地元さいたま）があります。日本の活躍を大いに期待していますが、建設産業に働く私たちも負けないくらいの活躍をしたいと思います。今年一年、まずは笑つて、楽しくがんばっていきましょう。

あなたの会社は今、 このように考えています

建設産業の問題解決にむけた直接対話

～日建協 秋の会社訪問報告～

日建協では、日建協活動の理解促進のため、また建設産業が抱える問題に対する意見交換を行う目的で、加盟組合企業への訪問を行っています。

今回も、加盟組合企業の経営者、人事労務担当者に加えて、土木・建築担当部門長の方にも多く出席いただきました。

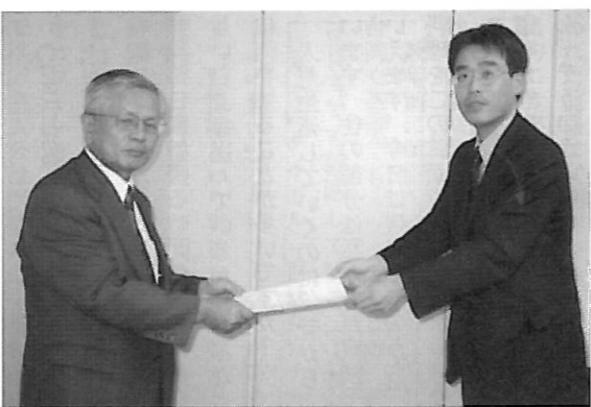
建設産業に関する、様々な課題の解決にむけた日建協の取り組みについて理解を深めていたくとも、加盟組合企業の経営者の方々がどのような意見を持っているか、訪問による直接対話を通して知ることができました。



大鉄工業



青木あすなる建設



錢高組



東鉄工業



奥村組



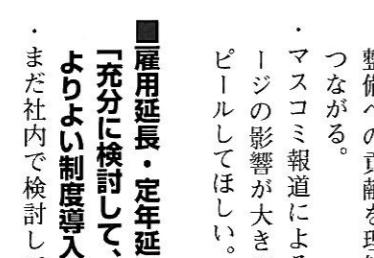
大日本土木



小田急建設



同和工業



飛島建設



フジタ

他の議題に対する主な意見は以下のとおりです。

■産業政策活動について

「提言内容に同感、 日建協活動に期待」

発注者側の組合との意見交換は興味深い。担当者であれば理解し合えることが多いと思う。状況改善にむけて話し合いを継続してほしい。

公共工事に関する提言書、民間分譲マンションの提言書とも内容はその通りで、納得できる。提言書の内容が実現すれば、所定外労働

時間の削減だけでなく、利益率の向上にもつながると思う。

経営者団体も含めて、建設産業全体で取り組んでいくべき問題だと思うが、個々の企業が具体的に取り組むことは難しい。日建協活動に期待している。

■産業の魅力化について

「建設産業への理解のために、 もつとアピールを」

社会資本整備の重要性から建設産業についてアピールするべきである。子供の頃から実際に現場を見てもらうことが、建設産業の社会資本整備への貢献を理解することへつながる。マスコミ報道によるマイナスイメージの影響が大きい。良い面をアピールしてほしい。

・雇用延長・定年延長について
「充分に検討して、
よりよい制度導入へ」
・まだ社内で検討しているところだ

が、新入社員採用も含めて、職員の構成や経営方針にもかかる問題なので十分検討して、組合に提示したい。

・再雇用者を効果的に活用すれば、ひいては長時間労働問題の改善にも繋がると期待している。
・60歳以降の仕事内容をどうするかが問題と捉えている。

【会社訪問をおえて】
業務多忙の中、多くの加盟組合企業が訪問に応じて、日建協活動を理解していただきました。また建設産業の抱える問題について意見交換すことができました。

その中で「好況感が感じられないどころか、まだまだ厳しい状況が続いている」と企業経営者の方々から実感のこもった声が聞かれました。この状況を乗り越えるためには、「労使が同じ目標にむかって、意見を出し合いながら、力を合わせていくことが不可欠」との認識をあらためて確認することができました。

【訪問概要】

期間 2005年9月～2005年11月実施

時間 各会社 約1時間30分

【議題】

1. 日建協2004年度活動報告、2005年度活動方針
2. 時短推進活動について
 - ・2005年6月 統一土曜閉所の結果について
 - ・「2004年時短アンケートの概要」内容説明
 - ・2005年11月統一土曜閉所についての協力要請
3. 産業政策活動について
 - ・提言「公共工事における無報酬業務を解消するために」
 - ・提言「民間分譲マンション工事における契約体質改善にむけて」活動状況報告、及び意見交換
4. 雇用延長、定年延長制度導入にむけて
 - ・専門委員会報告書紹介、及び意見交換

今回の会社訪問の時短推進活動についての意見交換の様子を再現してみました。

かるよう、組合員特に外勤者の残業時間は過去最長になっています。

心と体の健康に影響が及ぶ危険性のあるレベルに達している社員も少なくないことは認識している。」

日建協「日建協では時短へむけた取り組みとして、統一土曜閉所運動を行っています。今年6月は最近では最も高い閉所率となりました。多くの組合が会社からの協力を挙げています。」

会社「時短アンケートからもわかるように、組合員特に外勤者の残業時間が過去最長になっています。

心と体の健康に影響が及ぶ危険性のないレバーレベルに達している社員も少なくないことは認識している。」

日建協「日建協では時短へむけた取り組みとして、統一土曜閉所運動を行っています。今年6月は最近では最も高い閉所率となりました。多くの組合が会社からの協力を挙げています。」



会社「配属人員の多い作業所では交代での休日取得、休みを事前に計画してとるようになります。現場異動時の長期休暇を事前に計画してとるようになります。」

このように、会社側も時短推進、休日取得については、その重要性を認識しており、一緒にになって解決していく姿勢が見られました。

会社「配属人員の多い作業所では交代での休日取得、休みを事前に計画してとるようになります。現場異動時の長期休暇を事前に計画してとるようになります。」

お休みの日、たまにはお料理でも作つてみましょつか。



初心者でも作れる韓国料理2品



日建協副議長
佐久間信行

Compassをお読みのみなさま、明けましておめでとうございます。

「毎日家に帰る時間が遅い」とか、「休みの日にも仕事をしている」といった忙しい日々を送っているなか、みなさんは家族との「ミヨニケーション」や気分転換に何をすることが多いですか?

人が生活していくのに、昔から「衣・食・住が基本」と言われています。住の部分は私たちが直接その建設にかかわっている部分ともいえます。今日は残り2つのうち、「食を構築する」話という」と、料理をこの誌面で行ってみましょう。

ちなみに、私は普段ほとんど料理をしない人間です。読者の中には趣味が料理の方や、素晴らしい腕前の方もいらっしゃるかも知れません。そういうみなさんは優しい目を持って読んでください。



今日の題材は韓国料理



料理といえばみなさんはどんな料理を思い出しますか?

日本のお正月といえばいろいろないわれを持つ料理が並ぶおせち料理、世界三大料理といえば中華料理・フランス料理・トルコ料理、……と、まさに食文化という言葉にふさわしく、世界各地の文化の数だけ料理の種類があるのではないでしょう。

今回、私は韓国料理にチャレンジすることになりました。

4年前のワールドカップ日韓共催、あるいは、「冬のソナタ」ブームなど、20世紀には「近くで遠い国」と呼ばれ、た隣国との交流は、ここ数年、文化面を中心に盛んになっています。東京・新宿には、韓国関係の物販店や飲食店が数多く並ぶエリアがありますが、今回の料理の準備のために私が土曜日の夕方に行つたときも、市場やタレントショップはたくさんの人で大賑わいでました。

私自身もサッカー観戦などで何度も



昔は「韓国料理＝辛い」ではなかつた?



ところで、韓国料理といえば、まず頭に浮かぶのはキムチではないでしょうか。たっぷり入った唐辛子による真っ赤な色がイメージさせるとおりの辛い料理。キムチに限らず、チゲ（鍋物）やトッポッキ（韓国風の餅）など、唐辛子とその辛さこそが韓国料理の定番と思つている方も多いと思います。

しかし、韓国料理では昔から唐辛子をふんだんに使つていたわけではありませんことをご存知でしょうか。唐辛子は、16世紀後半、豊臣秀吉の朝鮮出兵が行

ソウルを訪れる機会がありました。市内を流れる漢江に沿つて高層マンションが林立する大都会でありながら、その一方で、食品や衣料品などを扱う東大門市場では、雖然としながらも活気のある様子であつたことが印象に残っています。ハンブルが読めないので、現地では看板やメニューを見ても理解できなかつたのはとても残念でした。



唐辛子（自家栽培）



ブルコギ

ブルコギとチヂミの基礎知識

そもそもブル「コギとは?」

中国は遙か昔の紀元3世紀の晋の時代、重要なお客様が来たときにもてなしにいたのが串に刺した味付け肉（メクチヨック）。そのメクチヨックが高句麗について少しだけ紹介します。

例えは、その当時は白菜（スンチエ）が野菜ではなく薬草として扱われていたのですが、それを使ったキムチが出てきた時も、今のような唐辛子色ではなく、水キムチという、一見すると野菜スープのような料理でした。時代考証としてそういう背景があつたということを最近知りました。

時代に、男性しかなかったことのない朝鮮国王の主治医を女性ながら勤めた、という記録が残されている一人の女性（日本でのタイトル「宫廷女官チャングムの誓い」というドラマがありました。15世紀という男尊女卑が強かつた時代に、男性しかなかったことのない朝鮮国王の主治医を女性ながら勤めた、という記録が残されている一人の女性）をヒロインとした時代劇です。ドラマでは、主人公は医術の道を歩む前に料理の修業をしていた、という設定になっています。そのため、宫廷での料理のシーンが多く登場するのですが、唐辛子を使った料理が全くと言つていません。その当時は白菜（スンチエ）が野菜ではなく薬草として扱われていたのですが、それを使ったキムチが出てきた時も、今のような唐辛子色ではなく、水キムチという、一見すると野菜スープのような料理でした。時代考証としてそういう背景があつたとということを最近知りました。

中国は遙か昔の紀元3世紀の晋の時代、重要なお客様が来たときにもてなしにいたのが串に刺した味付け肉（メクチヨック）。そのメクチヨックが高句麗

（コグリヨ・紀元前1世紀～紀元7世紀）に渡り、たっぷりの胡椒とニンニクに加えて高句麗の人々が開発した独自の醤（ジャン）で味付けされた高句麗式メクチヨックとなりました。その高句麗時代の肉料理が、肉に味をつけてから調理するという点で現代のブルコギの元祖だそうですね。

山型の鍋で焼いたアツアツを、皿に盛らずにそのまま食べるのが流儀です。本来の韓国風焼き肉はこれのこと

を指すとも言われ、肉にたれを付けて網焼きで焼くスタイルは、Japanese-Korean BBQとも呼ばれるややこしい食べ物だとか。韓国では鍋に残った漬けダレをご飯にかけて食べることもあるそうです。

焼肉というと「カルビ」、ロース・・・」というイメージもあるかと思いますが、栄養のバランスを考えると、野菜と一緒に焼いて食べるブルコギが私のお勧めです。

チヂミとパジョン

「チヂミ」は、ソウルではどちらかというと「ブチング」（「ブチング」という名前で親しまれていて、海鮮類やお肉・野菜などと小麦粉をいつしょにし、鉄板を使つて油で焼き上げる、まさに日本の好み焼きに似たお料理のことをいいます。日本ではよく、「チヂミ」と「パジョン」が混同されますが、二つを主に使用したチヂミとは違い、パジョンはネギを主に使用したものと言いま

す。他にも緑豆をひいて生地にして焼き上げる「ピンドトッ」、法事のとき供える「チヨン」（魚や肉・野菜を卵や小麦粉をまぶして焼き上げるもの）も「チヂミ」の仲間です。ソースたつぶりの日本のお好み焼きも美味ですが、あつさりしたチヂミもおいしいと思います。

今回の食卓には、この二品と一緒に、新宿の市場で買つてきたキムチとお酒、そして炊きたてのご飯が並びました。お酒はマッコルリという、白色をした少し甘い韓國のお酒を買つてきました。マッコルリとは「荒っぽくこじた」という意味からきた言葉だそうで、米に小麦を混ぜて発酵させるとできる、澄んだ部分と濁った部分を取り分けしていないお酒です。アルコール度数はそれほど高くないようです。朝鮮半島では昔からこのような酒が一般家庭で広く自家製造されていたそうで、その点も日本とのどぶろくと似ています。「東アジア稻作文化圏の国」という共通項を感じました。



マッコルリ

そしてお酒…料理の良き伴侶

そもそも「チヂミ」と「パジョン」は、ソウルではどちらかというと「ブチング」という名前で親しまれていて、海鮮類やお肉・野菜などと小麦粉をいつしょにし、鉄板を使つて油で焼き上げる、まさに日本の好み焼きに似たお料理のことをいいます。日本ではよく、「チヂミ」と「パジョン」が混同されますが、二つを主に使用したチヂミとは違い、パジョンはネギを主に使用したものと言いま

す。他にも緑豆をひいて生地にして焼き上げる「ピンドトッ」、法事のとき供える「チヨン」（魚や肉・野菜を卵や小麦粉をまぶして焼き上げるもの）も「チヂミ」の仲間です。ソースたつぶりの日本のお好み焼きも美味ですが、あつさりしたチヂミもおいしいと思います。

今回の食卓には、この二品と一緒に、新宿の市場で買つてきたキムチとお酒、そして炊きたてのご飯が並びました。お酒はマッコルリという、白色をした少し甘い韓國のお酒を買つてきました。マッコルリとは「荒っぽくこじた」という意味からきた言葉だそうで、米に小麦を混ぜて発酵させるとできる、澄んだ部分と濁った部分を取り分けしていないお酒です。アルコール度数はそれほど高くないようです。朝鮮半島では昔からこのような酒が一般家庭で広く自家製造されていたそうで、その点も日本とのどぶろくと似ています。「東アジア稻作文化圏の国」という共通項を感じました。

ソウルを訪れる機会がありました。市内を流れる漢江に沿つて高層マンションが林立する大都會でありながら、その一方で、食品や衣料品などを扱う東大門市場では、雖然としながらも活気ある様子であつたことが印象に残っています。ハンブルが読めないので、現地では看板やメニューを見ても理解できなかつたのはとても残念でした。

ところで、韓国料理といえば、まず頭に浮かぶのはキムチではないでしょうか。たっぷり入った唐辛子による真っ赤な色がイメージさせるとおりの辛い料理。キムチに限らず、チゲ（鍋物）やトッポッキ（韓国風の餅）など、唐辛子とその辛さこそが韓国料理の定番と思つている方も多いと思います。

しかし、韓国料理では昔から唐辛子をふんだんに使つていたわけではありませんことをご存知でしょうか。唐辛子は、16世紀後半、豊臣秀吉の朝鮮出兵が行

るようになりました。

ソウルを訪れる機会がありました。市内を流れる漢江に沿つて高層マンションが林立する大都會でありながら、その一方で、食品や衣料品などを扱う東大門市場では、雖然としながらも活気ある様子であつたことが印象に残っています。ハンブルが読めないので、現地では看板やメニューを見ても理解できなかつたのはとても残念でした。

ところで



では実践!
かんたん
韓国
レシピ

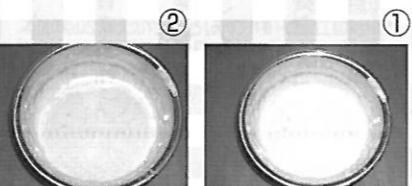
チヂミ

韓国風お好み焼き

二品目としてチャレンジしたのは、韓国風お好み焼きといえるチヂミです。普通のチヂミは小麦粉に卵を加えたものをベースに、二つを加えて、モチモチチヂミを作つてみました。

作り方

- ①ジャガイモと二つの準備
- ②「チヂミのタネ」作り
- ③さあ調理!
- ④出来上がり

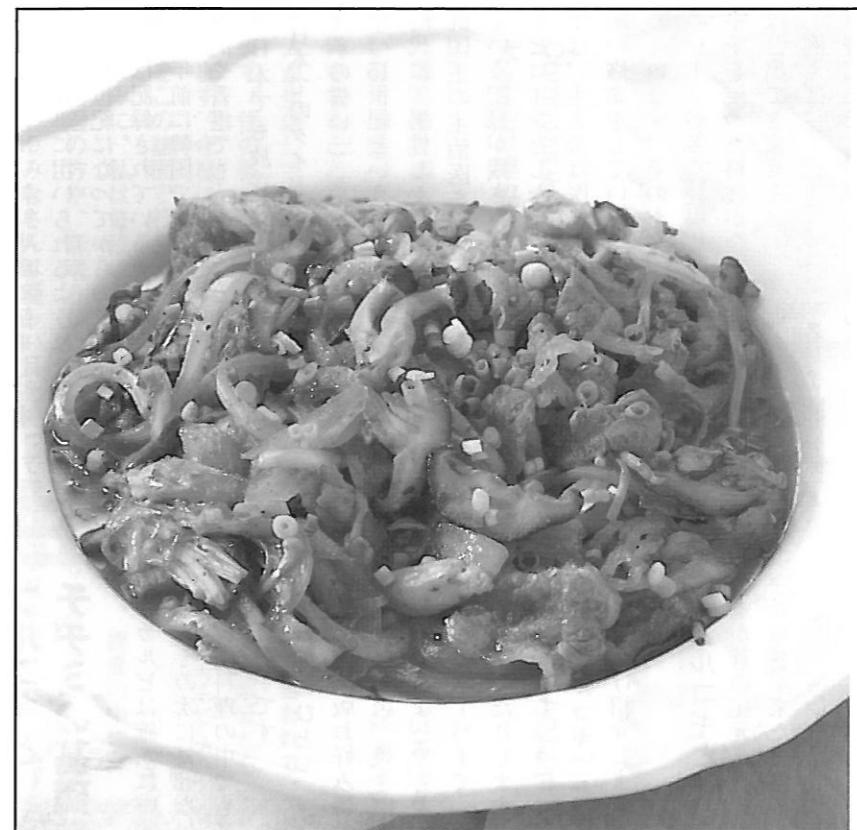


「食を構築する」料理の話ということでここまで書いてきましたが、本当に構築しているのは「家族のコミュニケーション」なのかもしれません。人間が食べ物を料理して食べるのには、きっと「生き物として生きていくためだけに食べている」のではないかでしょ

では、いただきます!!



参考資料
日本放送出版協会
韓国料理マガジン
「宫廷女官チャンプームの晉」



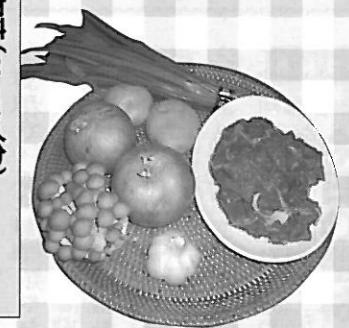
では実践!
かんたん
韓国
レシピ

フルコギ

肉と野菜がたっぷり!

それでは実際に料理してみましょ。初心者の私でもできる料理、といふことで、今日は「あまり包丁を使わない」料理にチャレンジすることにしました。

一品目としてチャレンジしたのは、肉と野菜がたっぷりの韓国風焼肉のフルコギです。



揉みこみます。
玉ねぎは薄切りにします。今回、キノコとニラはお好みで漬け込んでしまいました。(今回は漬け込みませんでした。)

少なくとも30分、できれば2時間くらい寝かせておきます。

玉ねぎと肉を漬けダレに入れ、

揉みこみます。

玉ねぎは薄切りにします。今回、

料理初心者である私は、「安全のため」包丁を使わずにスライサーで涙を流しながら薄切りにしました。

玉ねぎと野菜がたっぷりの漬けダレに入れ、

私たちが納めている税金について考えてみよう!

前回は、私たちが納めている所得税と個人住民税を中心に紹介をさせていただきました。第2回の今回は、現在税制改正を検討している「政府税制調査会」(略称「政府税調」とはどういうもののか。そしてその政府税調が2005年6月に発表した「論点整理」について、また、これに対して私たちサラリーマン・雇用労働者の代表である連合(日本労働組合総連合会)がどのような活動を行っているのかについても紹介します。

所得者であることを理由として所得の計算にあたって特別の斟酌を行う必要性は乏しくなっています。

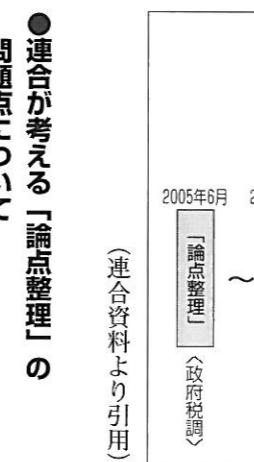
※政府税制調査会とは、内閣総理大臣の諮問機関であり、その名前のとおり税制に関する総合的な調査・分析をし、政府・与党に対し答申・報告を行う政府審議会のひとつです。

- ② サラリーマン・雇用労働者を標的にした「給与所得控除」縮小
- ③ 教育支出が増大する世帯に対する政策的配慮がない中での「特定扶養控除」廃止
- ④ 所得税から個人住民税への税源移譲が行われた場合の負担増(所得税が徴収されない低所得者層にとっては、単純増税となってしまう)

これら以外にも、負担増となる問題点がある。

政府税制調査会が発表した報告書である「個人所得課税に関する論点整理」において、減税措置を廃止するなど、所得税の抜本的見直しを必要としている主な理由は以下のとおりです。

- ① 現行税制が少子高齢化など経済社会の急速な構造変化に十分に対応し切れていない。
- ② 税制の変更が政策目的としていたことから、制度自体が複雑化している。
- ③ 現在生じている様々なゆがみ、不公正を是正し、公平・中立・簡素な税制を構築し、さらに、広く公平に負担を分かち合う必要がある。
- ④ 給与所得も事業所得も、勤労所得を通じて、経常所得であるとの点では差異ではなく、現在の雇用形態の多様化を踏まえれば、給与



●どれだけ私たちの負担が増えるのか

連合の試算では、今回の税制改正がされた場合、年間12万円から人によっては40万円以上の負担増になる可能性があると考えています。そこで連合では年収、家族構成を入力するだけで負担増額が試算できるコーナーをホームページに開設しています。

パソコンから
↓ <http://www.jtuc-rengo.or.jp/daizouzei/>
携帯電話から
↓ <http://www.jtuc-rengo.or.jp/m/>

次回は、改正が考えられている給与所得控除や人の控除(配偶者控除、扶養控除など)の各論についてふれていくたいと思います。

政府税調の「論点整理」に関して、連合が考える問題点は、次のようなものがあります。

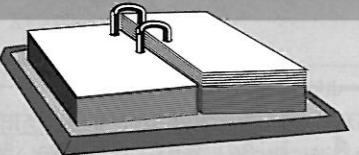
- ① 景気への配慮など、恒久的減税導入時の経緯を無視した、安易な「定率減税」の廃止



連合街頭キャンペーン風景

■年収・世帯別の年間負担増額(所得税+住民税) (単位:円)(連合試算) 定率減税+控除見直し			
給与収入	夫婦片働き子ども2人	夫婦片働き	1人暮らし
300万円	125,800	132,800	88,400
400万円	168,300	182,300	137,700
500万円	221,800	237,200	178,600
600万円	280,000	331,000	272,400
700万円	376,000	418,700	324,900

日建協があなたの組合を訪問しました。



交流日誌 1 10月13日(木) 井上工業職員労働組合

会社訪問の後、会社訪問に同席した12名の執行委員の皆さんと意見交換会を行いました。

まず会社訪問の感想から始まり、その後は特にテーマを設げず、日建協活動について、また組合活動全般について自由に討議しました。

時短活動に関しては、井上職労組がこれから力を入れ取り組みたいと考えている、現場異動休暇について、他の加盟組合の制度化の状況や運用状況はどうなのか、といった質問がありました。また建設産業は、夜間作業で徹夜しても、翌日中に書類提出のため役所へ出向かないといけない等、作業環境によっては変則的な対応を迫られることがあるが、現状では人員不足で交代勤務もままならない、といった意見が出されました。他にも当時の施工担当者が、竣工物件に対するアフター対応のために休日取得できない、作業所への技術支援部署の充実をはかってほしい等、時短にむけて適正な人員配置が必要だ、などの意見が出されました。

提言活動に関して、営業職の執行委員から、自分が接しているデベロッパーの契約内容、内覧会開催の状況について意見が述べられました。また、あらためて日建協

の提言書に書かれている内容を意識して、発注側担当者と話してみたいとの感想がありました。

最後に、最近よく聞かれる「組合離れ」について話し合いました。井上職労組の執行部としても気にかけている問題で、どのようにすれば、組合員が組合活動に目をむけて積極的に参加してくれるのか、日々考えながら取り組んでいるとのことでした。レクレーション活動がきっかけでもよいので、組合活動にぜひ参加してほしいとの要望が出されました。(コンパス号外に掲載しています)

同じ会社の仲間と顔を合わせて、明るく元気を出して頑張っていきたいとの執行部の熱い思いが伝わってきました。



交流日誌 2 11月4日(金) 東洋建設職員労働組合

東洋建設職員労働組合の執行委員会(出席者21名)において、日建協活動に関する意見交換会が開催され、日建協本部から宮野議長他2名が参加しました。

「公共工事の無報酬業務」に関する提言活動については、業務多忙な現場の状況とその原因についての意見が多く出されました。発注者が現場から離がちである現状に関して、「工事担当者の業務が現場の状況をあまり把握できず事務的になっているのではないか。」との声がありました。また、発注者内部での連絡調整や意思疎通がうまくいかず施工に支障をきたしている事例や、依然として提出書類が多い事例など、今後の提言活動につながる報告がありました。

「民間分譲マンション工事における契約体質改善」の提言では、マンション購入者へのアフターサービスについて、「これまで日建協が個別デベロッパーにヒアリングしてきた内容と、現実の対応状況とに乖離があるのではないか」との指摘があり、今後確認していくよう要望する意見などがありました。

提言活動の他にホワイトカラーの働き方に関する自由討議なども行なわれ、東洋職労組の執行委員のみなさんが日頃感じている職場の実態をベースに、活発な意見は途切れることなく飛び交いました。当事者として産業が抱える課題を解決していくこうとするみなさんの問題意識の高さと、日建協活動に対する期待の大きさを改めて感じることができました。

今回の意見交換会で得られたみなさんの熱い思いと意見を、今後の提言活動に活かしていきたいと思います。

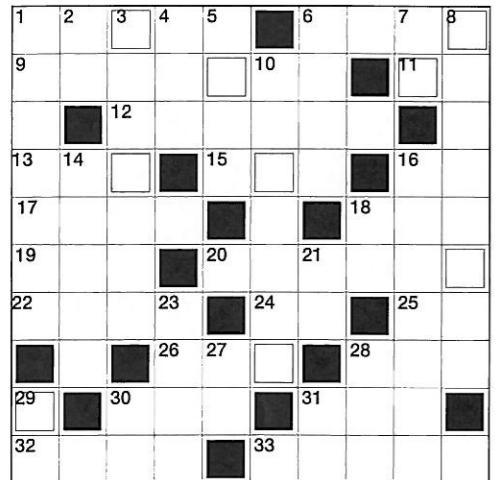


クロスワードタイム

皆様、明けましておめでとうございます。今年もクロスをよろしくお願いします。これからが寒さも本番です。体調には充分お気をつけください。年頭からクロスで頭の体操をしてみませんか。

■〆切:2月3日(金) ■宛先:〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3階 日建協クロスワード係
(Mailはこちらへ XLZ02642@nifty.com)

ヒント:平安時代の「貝合せ」がルーツと言われています。



▼タテのカギ

1. お正月の定番の食べ物。これに飽きたらカレーがおすすめです。
2. 屋根の雨水を受けて、地上に流す仕掛け。
3. 物を見る能力を調べること。このとき使用される英語の「C」のようなマークはランドル環といい、世界共通の記号となっています。
4. なかなかやめられない、新しい方針に切り替えることが出来ない習慣のこと。
5. 「かたつむり」の別称。
6. 伊勢神社に参拝すること。
7. 小説「武蔵野」で知られる作家は「○○木田独歩」。
8. 少女漫画「美少女戦士セーラームーン」の主人公の前世は?。
10. 目的地に着く前に電車やバスを降りること。
14. インドの南東に浮かぶ島国。紅茶や宝石、スパイスで知られる国。
16. 点心の一つ。プリプリの食感が食べる人を魅了します。
18. 「もし…ならば」そんなことを思ったことはありませんか。
21. 「○○ポイント」、「○○ワード」、「ゴル○○パー」。
23. お正月はくれぐれもこれには充分に注意をしましょう。アッといふ間に腹がポッカリなんってども…。
27. 現在のベストセラーを意味することわざで「落陽の○○」を高めらしめる。
28. 伊丹十三監督の映画「○○○の女」。正式名は国税局监察部というそうです。
29. 煙で作る、粒はアワに似て茶色の穀物。
30. アズキを煮てつぶし、砂糖を加えた食品。
31. マージャンで使うこと。

No.764クロスワード 正解と当選

答えは「コガラシイチゴウ」でした。



たくさんのご応募ありがとうございました。次の30名の方が当選されましたので、追って、コンビニやガソリンスタンドでも使える、便利なクオカードをお送りします。

高山健介(青木あすなろ)、高森友之(アサヌマ)、谷澤ちか子(安藤)、久永亮子(井上)、阪口弘一(奥村)、谷本順久(小田急)、年光悦子(鴻池)、近藤刚(国土)、高橋英史(佐藤)、倉坂健治(シミズ)、和久雅也(鎌高)、田中耕平(大豊)、福田隆久(铁建)、岩井田和美(東鉄)、稻田満(東洋)、後河内理枝(戸田)、畠田敦(戸田)、藤枝裕介(飛島)、森下優子(中山)、外山義人(西松)、広部栄人(野村)、小田正士(フジタ)、小林秀如(ベンタ)、安井敏夫(松村)、佐藤直子(馬淵)、青木亮子(三井住友)、椎野武幸(三井住友)、嶋田明(名工)、香山孝司(横河)、高橋麗奈(筑築) <敬称略>

もう
無い

「笑う門には福がある」ということわざもありますが、笑うことは、私たちの心と体に大いにプラスになるようです。ある調査によると、笑いがストレス解消の手段となるだけではなく、免疫組織にとって良い場合があるそうです。また、長時間笑い続けると、血行が良くなり、心臓、横隔膜の運動による「体内のジョギング」といえる効果があるそうです。そういう点で、テレビで元プロレスラーのアニマル浜口氏が「アハ、アハ」と笑いながら大きな声を出すことが健康法だと実演つきで説明していましたが、あなたが効果がない訳ではないようです。(見ているこちらが笑えるという効果もありました。)

日建協活動報告

日建協一般活動報告(10~11月)

- 10/3 連合 第28回中央執行委員会出席
・建築業協会(BCS)訪問(統一土曜閉所運動協力要請)
10/3~4 日建協賃金教室開催
10/4 日本建設業団体連合会(日建連)訪問(統一土曜閉所運動協力要請)
・連合、GCAP国際シンポジウム出席
10/5~6 連合 第9回定期大会
10/6 建設通信新聞シンポジウム出席
・日建協家計簿チェック説明会開催
・第2回個別賃金専門委員会開催
・北海道大学訪問
10/7 金融商業労組懇親会出席
・全開發労働組合訪問
10/11 中央労福協第4回労働組合議出席
・日本土木工業協会(土工協)訪問(統一土曜閉所運動協力要請)
10/12,27 厚生労働省今後の労働時間制度に関する研究会傍聴
11/1,30 新日鉄都市開発訪問(民間分譲マンション)提言意見交換
10/13 連合 第3回アスベストプロジェクト会議出席
・日本建設経営協会(日建経)訪問(統一土曜閉所運動協力要請)
10/14 第1回代表者会議開催
・全国建設業協会(全建)訪問(統一土曜閉所運動協力要請)
10/15 連合 第1回労働組合拡大センター来所
・不動産協会訪問(統一土曜閉所運動協力要請)
・日本住宅建設産業協会(日住協)訪問(統一土曜閉所運動協力要請)
・鹿島建設社員組合来所
・全国電力関連産業労働組合総連合(電力総連)訪問
・連合 第1回中央執行委員会出席
10/26 BCS大阪支部訪問
・厚生労働省労使関係担当参事官室訪問
・国土交通省職員組合訪問
・公益通報者保護法説明会(東京都)出席
10/31 連設産業分離組合懇親会開催
11/1 東京労働局労働基準部労働時間課訪問
11/2 連合 2006春季生活闘争中央討論集会出席
11/4 連合 第1回雇用法制担当者会議出席
・日本教職員組合(日教組)訪問
・国土交通省労働資材対策室訪問(統一土曜閉所運動説明)
・連合「建設・資材・林産」部門連絡会職場見学会(秩父)出席
・連合 第1回労働条件担当者会議
・連合 人権男女平等推進担当者会議出席
11/8 第3回個別賃金専門委員会開催
11/10 厚生労働省建設港湾対策室訪問(統一土曜閉所運動説明)
11/12 連合 第1回土曜閉所日
11/15 フード連合意見交換会出席
11/17 連合 第2回中央執行委員会出席
・長期休暇取扱い推進2005東京大会参加
11/22 連合「建設・資材・林産」部門連絡会出席
・リクルート訪問
・政策ビジョン懇談会出席
11/25 電力総連来所
・リクルートコスモス訪問(民間分譲マンション)提言意見交換
11/28 第1回積立年金委員会開催
11/30 連合 第4回中央委員会出席
・連合男女雇用平等法全国フォーラム出席

お知らせ

日建協ホームページのURLが新しくなりました。
新URL <http://www.nikkenkyo.com/>
これからもタイムリーに更新していきますので、
アクセスお願いします。

表紙

今年は戌年というわけで、今回の表紙は犬です。
名前はタロウ、好物はおせんべい、特技はお座り(というか、これしかできません)。
飼い主は秘密です。

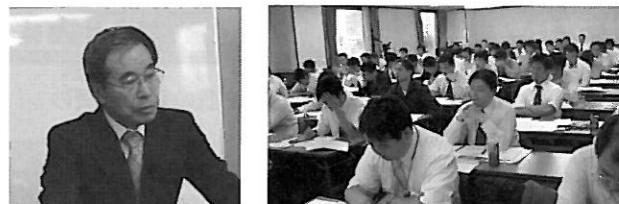
トピックス

TOPICS

賃金の基本と実践を学ぶ

(10/3,4 日建協賃金教室 参加者:初級編64名、上級編61名)

2006年賃金交渉のスタートとして、賃金コンサルタント武内崇夫先生を講師に迎え、日本青年館にて2日間に渡って賃金教室を開催しました。両日とも昨年を上回る参加となり、初日の「初級編」では、賃金の決定基準や賃金の交渉方式、人事制度、賃金体系など主に賃金の基本的な事項を中心に進められました。2日目の「上級編」は、成果主義賃金の考え方や役割・業績評価制度、臨時給与、退職金制度、人事考課の考え方などを中心に進められ、特に人事考課については、人事評価制度が適正に行われるための考課者訓練について演習を行うなど、より詳細に且つ実践に即した講義が行われました。講義で得られた知識を活用して、今後の加盟組合の賃金交渉に取り組んでもらいたいと思います。



組合が変わる、社会を変える — つくろう格差のない社会、職場・地域から —

(10/5,6 連合第9回定期大会)

連合の2年に一度の定期大会が、東京厚生年金会館で開催されました。今回退任される笹森会長の任期中の活動報告に続き、来賓として小泉総理大臣、尾辻厚生労働大臣、前原民主党代表、福島社民党党首、また海外からの来賓として国際自由労連(ICFTU)、国際労働機関(ILO)の出席者らが挨拶を行いました。小泉総理大臣からは「意見を戦わせる立場にあったが、笹森会長は任期中よく頑張られた」と労をねぎらう言葉がありました。また前原代表からは、「すべては国民のため、働く皆さんの視線に立って政治を行っていく」との挨拶がありました。

その後1日目は、一般活動報告と決算報告、2006~2007年

度の運動方針、予算が審議され、承認されました。2日目には役員選挙が行われ、新会長には山口センセー(山口)、高木剛氏が選任されました。また最後に、「労働を中心とする福祉型社会」を実現するため、労働運動を活性化、再生することを柱とした、大会宣言を採択して閉会しました。



新しい顔ぶれで、活発な討議

(10/15 第1回代表者会議)

第1回目の代表者会議を新しい顔ぶれで開催しました。会議長には横河工事労働組合の稻盛執行委員長が選任されました。全体会議において11月の統一土曜閉所運動への取り組みについて組合間で意見交換を行いました。活動報告では、提言活動の中で、これまで行った個別デベロッパーとの意見交換について報告しました。また、アスベスト問題に関する取り組みについて、連合のアスベストプロジェクト会議に出席して得た、連合のアスベスト問題への取り組み方針や、他産業の取り組み状況、今後の取り組みについて報告しました。

分散会議では、2006年賃金交渉について、日建協個別賃金

水準の実現を目指し、賃金水準の向上にむけて取り組む、という方向性を持つことを確認しました。また今後改正が予想される労働基準法へ対応した、建設産業における働き方について討議しました。

土曜日開催にもかかわらず、多くの代表者が出席し、建設産業として目指すべき方向について、活発に討議することができました。



日建協の時短方針紹介

(11/1,2 2006連合春季生活闘争中央討論集会)

連合は、賃金交渉を含む私たちの生活全般に関わる春の交渉を春季生活闘争と位置づけ、2006春季生活闘争中央討論集会を千葉県浦安市で開催しました。全国から約500名が参加したこの集会では、2006年度の基本的考え方(基本構想)について、1日目の全体会議に続き、2日目には3つの分科会形式で進められました。「ワークルールの確立—法令や労働協約を守る取り組み」をテーマにした第3分科会では、労働時間短縮への取り組みの好事例紹介として運合より依頼を受け、時田副議長(日建協)より、統一土曜閉所運動を含む加盟組合全体で取り組む時短活動を中心に紹介しました。

私たちの時短への取り組みは、参加している他の労働組合から、「心と体の健康確保に向けた日建協の時短推進活動には共感できる」と、その考え方に対する賛同の意見をいただきました。その後も他の組織からの労働安全衛生への取り組み事例など様々な活動の紹介や、改正高齢者雇用安定法の取り組みについて情報交換するなど、熱心な議論が進められました。



笑顔になれる会社を目指そう!

東洋建設職員労働組合

皇居の北側にある北の丸公園は、園内に科学技術館、東京国立近代美術館などの文化施設がある緑豊かな公園です。特に科学技術館の中には、展示室を「建設現場」として擬似体験できる建設館があり、子供に人気のスポットとなっています。東京の中心部とは思えないほど閑静な公園に程近い高層ビルの一角に、東洋建設職員労働組合の事務所があります。



組合のイメージキャラクター
「ラッピー」



左から 時田副委員長(日建協担当)、大杉委員長、相澤さん、後藤副委員長、佐々木書記長

組合のスローガンはありますか。

大杉委員長

「笑顔になれる会社を目指そう」です。働きがいのある職場にしたい、活力ある会社にしたいという目標にむけて、職員みんなが一緒に目指せる、わかりやすいスローガンを掲げました。



大杉委員長

組合として力を入れて取り組んでいる課題がありましたら教えて下さい。

後藤副委員長

来年、組合結成60周年を迎えるので、それにむけて記念誌発刊の準備をしています。また「賃金回復のための業績向上」「時短の推進」「若年層のフォロー」といった課題にむけて力を入れています。業績向上に対しては、会社にむけて、組合から具体的な提言を積極的に行ってています。



後藤副委員長

組合員からの意見を収集するためには、どんな方法を使っていますか。

後藤副委員長

職場集会を基本にしています。データの収集のためにITインフラを使ってアン

ケートをとることもありますが、みんなで直接顔を合わせて、対話することが大切だと考えています。少数だとしても貴重な意見をできるだけ吸い上げて、組合活動に活かしていきたいと考えています。

組合員からの声で気になったことはありますか。

佐々木書記長

会社、及び建設産業の将来がどうなるかビジョンが見えない、という声をよく耳にします。また社員同士のコミュニケーションが薄くなってきた、という意見も聞かれます。今年は3年ぶりにレクレーションを開催し、職員同士の交流が少しでも深まる機会にしたいと考えています。



佐々木書記長

今後、日建協を通して、どのような活動に取り組んでみたいですか?

大杉委員長—産業内外にむけて直接意見発信ができる日建協として、建設産業の地位向上と公共投資の必要性が適正に評価される活動ができれば、と思っています。加盟組合それぞれの立場は違いますが、「共鳴」できることも多くあるので、もっと議論できる場がもてればいいと考えています。

最後に、どうしてもこれだけは言っておきたい、ということを何でもどうぞ。

後藤副委員長

自分の好きな会社で仕事をしたい、という思いはみんなが共通で持っているものと思います。その為にも私たち社員がより公平に評価される仕組みを労使で構築していくべきだと思っています。

佐々木書記長

一人で悩まずに、組合を利用、活用してほしいと思います。ぜひ意見を発信して下さい。

大杉委員長

組合員一人ひとりが考えていることを発言できる組合なので、それが「組合を変える」「会社を動かす」原動力になって欲しいと思います。



写真を見ていただいても、おわかりのように執行部の皆さん「笑顔」=「やりがい」を持って組合活動に取り組んでおられる様子が伺える、今回の取材でした。

これからも自由に意見できる組合、会社に発言する組合として、頑張って下さい。御忙しい中、取材に応じていただきありがとうございました。